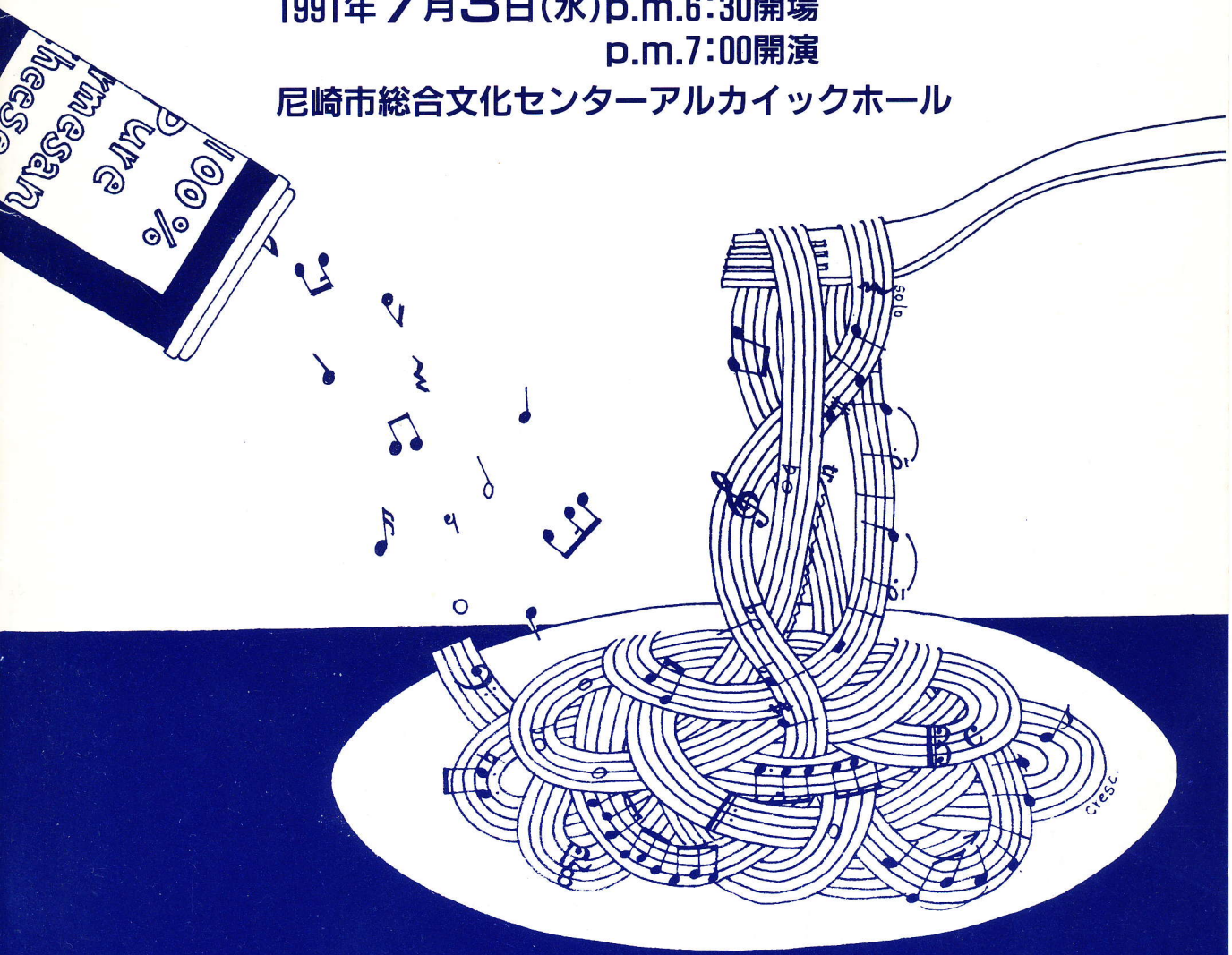
神戸大学交響楽団
'91 SUMMER CONCERT

1991年7月3日(水)p.m.6:30開場
p.m.7:00開演
尼崎市総合文化センターアルカイックホール



協賛：神栄石野証券株式会社・富士通テン株式会社
賛助：株式会社神戸マツダモータース
後援：兵庫県・神戸市民文化振興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社
プレイガイド：関西プレイガイド協会・さんちかプレイガイド・神戸大学生協

PROGRAM

歌劇「魔笛」序曲 作品620
"Die Zauberflöte" Overture K.V.620

W.A.モーツァルト
W.A.Mozart
指揮：稲葉宏己
コンサートマスター：松嶋秀明

ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18
PIANO CONCERTO No.2 c-moll Op.18

Ⅰ Moderato
Ⅱ Adagio sostenuto
Ⅲ Allegro scherzando

S.ラフマニノフ
S.Rachmaninoff
指揮：中村ユリ
コンサートマスター：稲葉宏己

交響曲第5番 ホ短調 作品64
SYMPHONIE Nr.5 e-moll Op.64

Ⅰ Andante-Allegro con anima
Ⅱ Andante cantabile, con alcuna licenza
Ⅲ Valse:Allegro moderato
Ⅳ Finale:Andante maestoso-Allegro vivace

P.I.チャイコフスキー
P.I.Tschaikowsky
指揮：中村ユリ
コンサートマスター：稲葉宏己

ご 挨 拶

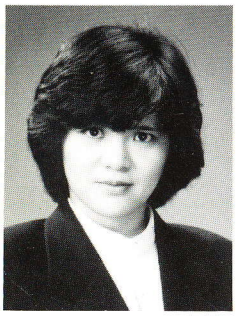
神戸大学交響楽団顧問
経営学部教授 **谷 武幸**

本日、恒例のサマーコンサートを迎えることができ、皆様にこのプログラムを通じて挨拶できますことを光栄に存じます。本年も中村ユリ先生を客演指揮者としてご指導をあおぎ、モーツァルト「魔笛序曲」、ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第２番」チャイコフスキー「交響曲第５番」をおとどけ致します。

中村先生をはじめ関係各位に心から謝意を表しますとともに、来場の皆様の暖かいご声援をお願い致します。

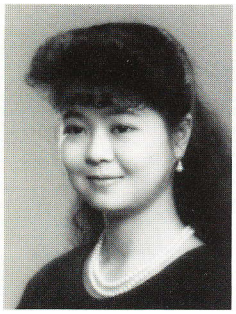
神戸大学響友会会長 **千葉修二**

５月９日のNHK・TV「ちょっと良い旅・異人館にはモーツァルトがお似合い」に神戸の北野町が登場し、その中で神戸大学オーケストラの第一回演奏会の、プログラムが紹介されたのをご覧になられた方も多いのではないかと思います。明治以来の文明開化の先駆けの役割をはたしたこの「神戸」の地は、西洋音楽に関しても貴重な歴史を持っています。今年のモーツァルト没後200年を記念して、神戸市もイベントを計画していますが、第２次大戦後の、神戸大学オーケストラの活動にも、モーツァルトを抜きにしては語れません。「玩具交響曲」(モーツァルトの父の作品)に始まって、ピアノ協奏曲第23番、「ジュピター交響曲」などを演奏するうちに、今日のような立派なオーケストラに成長することが出来たのです。今夜のプログラムは、世界の一流のオーケストラの演奏会でも聞けない程の豪華な曲目が並んでいます。が、どの曲も何かの機会に、皆様方もお聞きになって十分ご承知だと思います。特にラフマニノフのピアノ協奏曲第２番は映画に使われ、60才に近い年代の者にとっては、その甘美なメロディが、青春の想い出として忘れられない曲です。チャイコフスキーの交響曲も溢れ出る美しいメロディの連続に、魅了されずにはおられません。こんな難しい曲が神戸大学オーケストラで演奏されるのは、本当に素晴らしいことです。私も聞く側でなく、演奏する側に立ってみたい気持ちがします。どうぞ、皆様方もこの偉大で親しみやすく、素敵な音楽との出会いを十分お楽しみ下さい。



客演指揮者　**中　村　ユ　リ**

1961年東京に生まれる。1984年、国立音楽大学卒業。在学中より指揮を小松一彦氏に師事。1987年、桐朋学園大学ディプロマコース指揮専攻科へ進み、尾高忠明、秋山和慶、小澤征爾の各氏に師事。以後、神戸大学・同志社大学・北里大学等の学生オーケストラ、また静岡フィルハーモニー、府中市民交響楽団、ワグネルＯＢオーケストラ、藤沢市民交響楽団、新交響楽団等の市民オーケストラにおいて客演、副指揮を務める一方、東響コーラス、武蔵野合唱団、東京レディースシンガーズ等、合唱の分野でも活動を広げる。1990年９月、第40回ブザンソン国際青年指揮者コンクール２位入賞。1991年３月、湘南台文化シアター主催レディースオペラ公演にてオペラデビュー。同年４月、東京交響楽団少年少女のための春休みコンサートで４公演を務める。



ピアニスト　**三　宅　智　子**

大阪府立生野高等学校を経て相愛大学に入学。1987年11月、フランス音楽コンクールピアノ部門第２位入賞。関西日仏学館賞。エール・フランス賞受賞。1990年３月、相愛大学卒業。卒業演奏会に出演。５月、第27回なにわ芸術祭新進音楽家競演会に出演。新人奨励賞受賞。関西音楽大学協会主催第31回新人演奏会に出演。７月、第108回日演連推薦コンサート「若いひびき」に出演。12月、大阪府立大学・女子大学合同交響楽団定期演奏会にソリストとして出演。1991年３月、相愛大学ピアノ科研究生卒業。その他多数の演奏会に出演。室内楽奏者、伴奏者としても活躍中。この秋よりドイツへ留学予定。奥村道子、芝令子、横井和子、片岡みどりの各氏に師事。

学生指揮兼コンサートマスター　**稲　葉　宏　己**

稲葉（イネバ）氏の知られざる一面、それはズバリ人間性のセコさによる「クリーンハンド」である。tutti等の際に人をダシにしてウケをとったり、対面から白、発、中と三連続ポンして（なかせるほうもたいがいだが）、素知らぬ顔で二人をハコテンにし、レビシでの一日について尋問を受けても法学オタクの知識を駆使してアリバイを捏造し、決して「自分の手は汚さない」のである。女性ファンが離れていく日は近いであろう。P.S. 申し訳ない!!

コンサートマスター　**松　嶋　秀　明**

まっちゃんは須磨に生棲する、モーツァルト狂いのエテ公だ。エテのまっちゃんは落ち着きがなく、いつもぴゃらぴゃら跳ね回る。天気のよい日は、血が騒ぐらしく「あーウー、体がうじうじするねん。あーウー」それをいうなら「うずうず」やー。まあ、言葉を覚えたてなので仕方あるまい。また、人間ばなれした嗅覚の持ち主まっちゃんは、微妙な音程の違いも鼻でかぎわけられる。チューニングのときの鼻の動きに注目されたし。

トレーナーの先生方

宇治原　　明（大阪フィルハーモニー・首席ファゴット奏者）
岡　田　英　治（大阪フィルハーモニー・コンサートマスター）
宮　村　　聡（京都市交響楽団・首席トランペット奏者）

以上の先生方に御指導いただきました。この場をかりて御礼申し上げます。